



三高進路 NEWS (2年生)



三刀屋高校 進路指導部 2025/09/24

第5号



この夏休み、多くの人がオープンキャンパスやボランティア活動、体験実習などに参加して、進路選択について考える機会を持ったと思います。今回は、志望の絞り込みについて考えていきましょう。

★自分の将来を具体的にイメージしよう

志望を考えるときに一番大切なのは、「**自分は将来どうなりたいか**」「**何をしたいか**」を具体的にイメージすることです。まだ将来像がはっきりしない人は、友人や家族と、なんとなくでもいいので将来について話してみましょう。自分の興味や関心が見えてくるかもしれません。そして、興味・関心のある分野について調べてみることで、少しずつ志望の絞り込みをしていきましょう。

★実際の学校や企業を見て比較してみよう

オープンキャンパスでは実際にそこに通う学生と話ができる相談コーナーや、先生の講義を体験できる模擬授業など、志望校選びに役立つさまざまなプログラムがあったと思います。「この大学・この学部に行きたい!」と想着いても、**実際にキャンパスを訪れたい複数の模擬授業を受けて比較したいする中で関心を持てる学校や学問分野に気づくこともあります**。「志望校はもう決まっている」という人も、複数のオープンキャンパスを体験して学びの違いを確かめることは大切です。

また、参加して終わりにするのではなく、参加の記録を残しておくといいですね。

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| ・興味をひかれたもの(こと)はあったか | ・目指す資格は取得できるか |
| ・自分の関心・得意分野は何か、気づけたか | ・研究室・図書館などは充実しているか |
| ・学んでみたいと思う学科やコースがあったか | ・インターンシップや留学は充実しているか |
| ・将来その場所で学ぶ姿や、卒業後の自分をイメージできたか | |

などを具体的にメモしておく、見直して比較できます。気づいたことは何でも書き残しておきましょう。

★ホームページやパンフレットを見て比較検討しよう

実際に行ってみることができなくても、ホームページ等を見ることで分かることもたくさんあります。複数のホームページやパンフレットを見て比較してみましょう。

進学希望先を比較してチェックしてみよう

☆進学したい学校が望む人材と、なりたい自分が重なるか検討しよう

☆受験の基礎情報、データを受験対策に役立てよう

昨年度の進路講演会に来ていただいた山内太地さんのお話を覚えていますか? **3つのポリシー(ディプロマポリシー、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー)**を見ることが将来設計にも受験にも不可欠です! HP やパンフレットなど、押さえるべき「3ポリ」を中心にしっかり見ておきましょう!

☆卒業後を見据え、卒業後の進路・資格取得なども確認しよう。また、施設・設備の充実度も確認しよう

進学する学部が違えばもちろん、同じ学部名でも学校によって取得できる資格が異なる場合もあります。まずは「マナビジョン」などさまざまな情報サイトを利用して調べてみましょう。



←マナビジョン TOP 学校情報などが掲載されています



志望校を調べて考え、絞り込むことは、日々の学習のモチベーションにつながるだけでなく、将来のなりたい姿に近づくための第一歩となります。今の時期から自分と向き合い、自分の興味のあることが学べる大学・学部・学科の情報を幅広く集めましょう。将来の職業によっては、国家試験などを受験し資格を取得することが必須のものもあります。（保育士、看護師、各種検査技師、美容師、理容師など。）その場合、学校生活の充実度に加えて、**各種試験の合格率、資格取得に向けたサポート状況、卒業後の就職実績**などもしっかり確認しましょう。

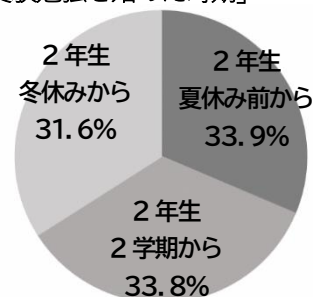
また、専門学校の場合、国や都道府県の認可を受けている「認可校」と、認可を受けていない「無認可校」があります。無認可校の場合は、卒業しても学歴として認められなかったり、進学しても通学定期券が利用できなかったり奨学金が受けられなかったりと、認可校で図られる便宜が得られない場合もあるので注意しておきましょう。

★自分の学力・行動等を分析し、志望校までの「距離」と「対策」を考えよう

先日、7月進研模試が返却されました。初めて「志望校成績」が記載され、一喜一憂したことと思います。**マナビジョン**にある「合格ライン」を閲覧するなどして、志望校の「受験科目」「配点」「合格ライン（合格者平均偏差値）」等を確認しておきましょう。判定の説明は個人票に記載されていますが、B判定で合格可能性がおよそ60%です。そして、志望校の合格可能性だけではなく、教科・分野の成績にも目を通し、**自分の「強み」や「弱み」の有無を探っておきましょう**。特にこの時期は**国数英の教科バランス**に注目しましょう。**明らかな苦手分野（科目）があるような場合には、今後理社対策を進める上で支障が出る可能性**が生じることもあります。進路実現のためにも、今できる対策にしっかりと取り組みましょう。

「難関国立大合格者が
受験勉強を始めた時期」

また、**10月29日(水)、30日(木)に実施される進研模試は、初めて「国英数理社」5教科の受験**になります。一つの目標、また受験本番の予行練習として、前向きに取り組みましょう。「スタディサポート」の結果によると、**難関国立大学に合格した先輩の約70%が2年生秋までに志望校を決定し、約68%が2年生の2学期までに受験勉強を始めています**。進路希望を実現した未来の自分の姿を思い描きながら、「合格ライン」を超えるための努力を続けていきましょう。「受験の体力」=基礎学力！！



(2023年度入試合格者の2年生第2回平均回答率)

公務員希望の人は、**11月から希望者を対象に公務員模試があります**。公務員試験の問題は、大学・短大や専門学校の試験とも異なる**独自の形式**があるため、**対策が不可欠**です。公務員試験の対策問題集は販売されているものも多くあります。問題演習に取り組み、模試を受験して合格可能性を高めましょう。

就職希望の人は、まずは**自分の興味・関心の持てる業種や職種を考える**ことが大切です。3年生の夏には希望する企業の「応募前見学」に行き、会社の説明を受け、その職種の仕事内容を確認します。2年生のうちには個別に企業見学をする機会はありません。また、**実際にどんな企業があるかを知らない、という人も多いでしょう**。興味・関心のある分野の企業があるか、高卒求人があるかなど、**過年度の求人票を見ておく**と参考になります。ただし、求人状況は毎年同じとは限りませんので注意が必要です。3年生の夏休みには、応募する企業を原則として1つに絞って「推薦願」を提出します。それが認められれば、履歴書を作成し、9月には試験（面接、作文、SPI、一般常識など）を受験します。学力や出席状況はもちろんですが、面接試験や作文試験では、本人の**適性や意欲の有無**などを見られます。「**社会に出て働くために、高校生活で何を大切にしていけば良いか**」をしっかりと考えてみてください。また、行きたい企業や業種・職種をある程度決めることで、**学校生活や日常生活で自分が特に大切にしたいこと、大切にしなければいけないこと**も見えてくるといいます。興味・関心の持てる業種や職種を考えるとともに、自分の行動や特性を振り返り、進路実現に向けてよりよい行動を心がけましょう。

進学希望の人は『進路の手引き』の第3章（P6～）、**公務員・就職希望**の人は第4章（P27～）に詳細が掲載されていますので、参照してください。

次回(10月)の進路NEWSは、小論文・面接特集です。